



2025年7月31日  
N I T E ( ナ イ ト )  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
北海道支所

## News Release

# 汚れ、踏まれ、引っこ抜かれる ～『プラグ・コード・コンセントの事故』で気をつけるポイント～

### 1. 事故の発生状況

NITEに通知があった製品事故情報<sup>※1</sup>のうち、2019年から2024年までの6年間に発生した家電製品の「プラグ・コード・コンセント」の事故<sup>※2</sup>は、北海道内で合計5件ありました。

#### (1) 被害状況別の事故件数

調査中を除く電源コードからコンセントまでの事故について、被害状況別の事故件数を表1に示します。

表1 被害状況別の事故件数

被害状況		2019	2020	2021	2022	2023	2024	総計
人的被害	死亡	0	0	0	0	0	0	0
	重傷	0	0	0	0	0	0	0
	軽傷	0	0	0	0	0	0	0
物的被害	拡大被害 <sup>※3</sup>	0	0	1	2	1	0	4
	製品破損	1	0	0	0	0	0	1
総計		1	0	1	2	1	0	5

#### (2) 発生箇所別の事故件数

調査中を除く電源コードからコンセントまでの事故について、発生箇所別の事故件数を表2に示します。

表2 発生箇所別の事故件数

発生箇所	2019	2020	2021	2022	2023	2024	総計
電源コード	1	0	1	1	1	0	4
タップ	0	0	0	1	0	0	1
総計	1	0	1	2	1	0	5

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故を含みます。

(※2) 調査の結果、製品本体側の電源コード根元からコンセントまでの箇所（延長コード、テーブルタップ、マルチタップを含む）が原因で発生した事故。製品に起因する事故は除きます。

(※3) 製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすこと。

## 2. 事件事例

- 『電源コード』に過度な応力が加わり、半断線して異常発熱した事故  
事故発生年月 2022年2月(北海道、80歳代・女性、拡大被害)

### 【事故の内容】

電気ストーブ付近から出火し、周囲を焼損した。

### 【事故の原因】

本体側の電源コードプロテクター付近に過度な応力が繰り返し加わったため、芯線が半断線し、短絡・スパークが生じたものと推定される。

なお、取扱説明書には、「電源コードをいたんだまま使うと、火災などの原因となる。コードを折り曲げたりするような使い方はしない。」旨、記載されている。

## 3. 「プラグ・コード・コンセント」の事故を防ぐチェックポイント

- ☑ 『電源プラグ』が破損・変形・変色等の異常がないか確認する。
- ☑ 『電源プラグ』にほこりが溜まっていないか確認する。
- ☑ 『電源コード』に破損・硬化・変色等の異常がないか確認する。
- ☑ 『コンセントやタップ』に電源プラグを差し込んだときに緩みがないか確認する。
- ☑ 『コンセントやタップ』に接続可能な最大消費電力を超えていないか確認する。

## 4. 「プラグ・コード・コンセント」の事故の再現映像について

「プラグ・コード・コンセント」に関する製品事故の再現映像及び静止画をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEロゴ」としてください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者: 神山、佐藤

電話: 011-709-2324